

## 親愛なるミュージシャン

この度はArturia DrumBruteをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。DrumBruteは、17種類のインストゥルメント、パワフルなシーケンス機能を内蔵した完全アナログ・ドラムマシンです。

この素晴らしい楽器をお使いになる前に、本ガイドの内容をお読みいただき、製品登録やソフトウェア、サポート等の情報をぜひチェックしてください。

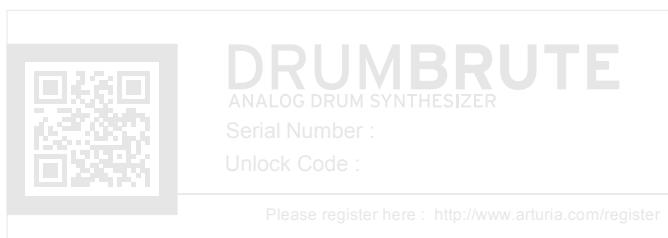
DrumBruteが、音楽制作やライブ等の一助になれば幸いです。

Arturiaチーム

**!** **重要:** DrumBruteをお使いになる前に、Arturiaウェブサイト([www.arturia.com](http://www.arturia.com))にアクセスし、最新ファームウェアやエディター・ソフトウェア、チュートリアルなどをご確認ください。

## パッケージ内容

- DrumBrute本体
- 12V - 1000mA ACアダプター、  
変換プラグ

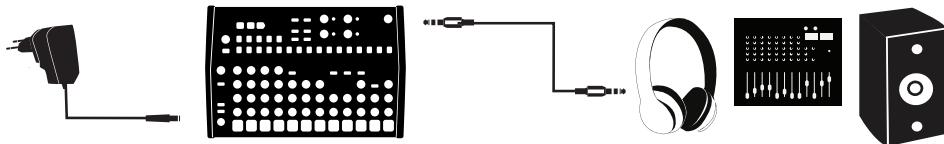


輸入販売元

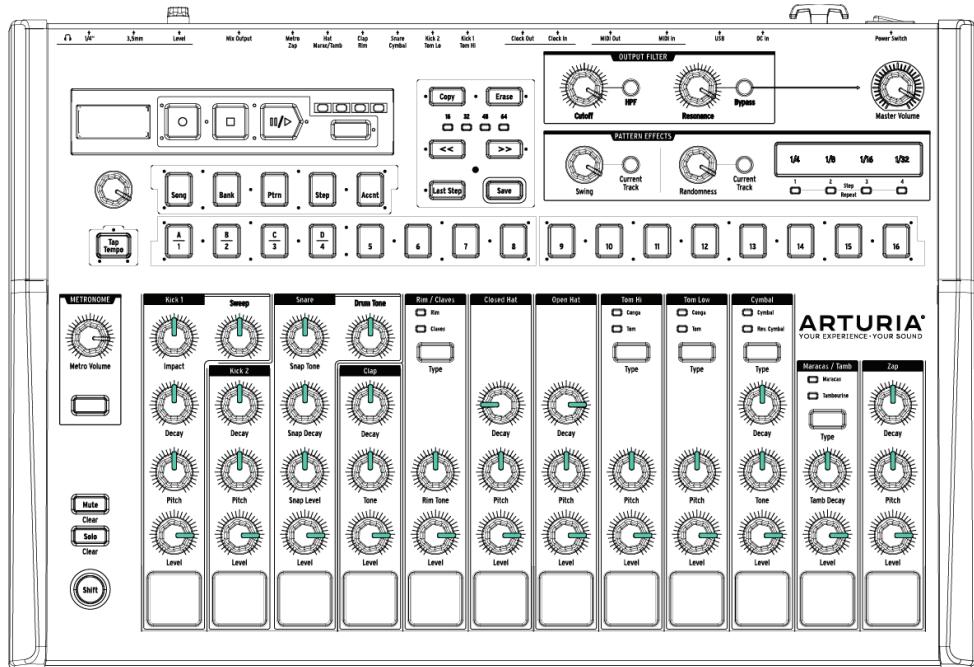
株式会社コルグ KORG Import Division  
〒206-0812 東京都稻城市矢野口4015-2

## 音出しをする

- ACアダプターと、ヘッドフォンまたはオーディオ・システムに接続します。



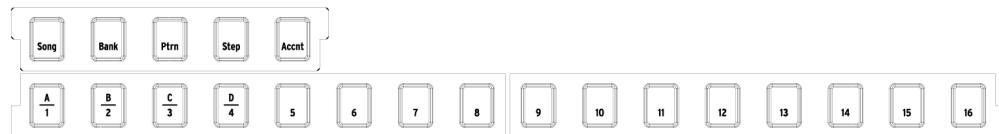
- フロントパネルの各ノブを以下の図のようにセットします。このセッティングは各ドラム・サウンドが分かりやすいセッティングです。



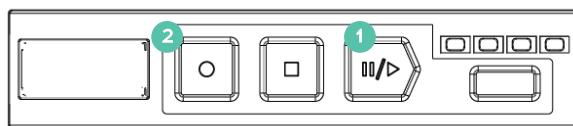
- ドラム・パッドを押して音を出し、どのパートがどういうサウンドなのかを確認してみましょう。
- 各パートの【Level】ノブはそのままにしておき、他のノブ(【Impact】、【Decay】、【Pitch】等)を回して、各パートの音色を変化させてみましょう。
- 複数の音色があるパート(リム/クラベ、コンガ/タム、シンバル/リバース・シンバル、マラカス/タンバリン)では、それぞれの音色を切替えて聴いてみましょう。【Type】ボタンを押してから、ドラム・パッドを押すと切り替わった音色が発音します。

## パターンを作成する：ステップ・エディット

パターンを作成するには、まずパターンを選択します。DrumBruteには64種類のパターンが入っています。64種類のパターンは、4つのバンク(A, B, C, D)に分かれてメモリーされています。



- バンクを選択するには、[Bank]ボタンを押し、次にその下にあるA～Dのボタンを押して選択します。ここでは[D/4]ボタンを押してみましょう。
- 次にパターンを選択します。[Ptrn]ボタンを押し、[16]ボタンを押します。このパターンは空になっています。
- [Step]ボタンを押します。
- その時に選択しているパッドのパターンを16個のステップ・ボタンで入力します。点灯しているパッドが、その時に選択されているパッド(パート)です。[Kick 1]パッドを押してキック1を選択してみましょう。
- 次のステップ・ボタンを押します：[A/1]、[5]、[9]、[13]。ステップ・ボタンを押すと青く点灯し、もう一度押すと消灯します。上記の各ボタンが点灯していることをご確認ください。
- [Play]ボタン ① を押すとパターンの演奏が始まります。



この時、パッドを押して別のパートを選択し、[Step]ボタンを押してそのパートのパターンを入力することができます。このような方法で簡単にドラム・パターンを作成できます。

## パターンを作成する：ライブ・レコーディング

上記でステップ・エディットの方法をご紹介しました。今度はパッドをリアルタイムに押してパターンのレコーディングやエディットを行う方法をご紹介します。

- [Play]ボタンを押してパターンをスタートさせます。パターンの演奏中に[Record]ボタン ② を押します。
- 演奏中のパターンを聴きながら各パートのパッドを押します。この時、最後に押したパッドが点灯し、そのパートのパターンが上のステップ・ボタンが点灯して表示されます。
- [Record]ボタンをオンにしたりオフにしたりすることで、ライブ・レコーディングとステップ・エディットの各モードを自由に行き来することができます。

## パフォーマンス・エフェクト

DrumBruteには、パターンをリアルタイムに変化させることができ可能なパフォーマンス・エフェクト機能が多数内蔵されています。そのいくつかをご紹介します。

### スwing

1. パターンの演奏中に、[Swing]ノブを回してみましょう。この時、スwing量が([Tempo/Value]ディスプレイに表示されます。表示が「50%」の場合はスwingがオフの状態で、「75%」で最大になります。56~58が一般的なスwing量です。
2. [Current Track]ボタンを押すと、選択したパートに対してのみスwingをかけることができます。これにより、パートごとに異なるスwing量を設定することができます。

### ランダムネス

[Randomness]ノブを回すと、パターンにわずかな(あるいは大胆な)変化が起こります。これにより、同じパターンでも単なる繰り返しではなく、より活き活きとしたパターンを演奏することができます。

1. パターンの演奏中に、[Randomness]ノブを回してみましょう。この時の変化量が([Tempo/Value]ディスプレイに表示されます。
2. [Current Track]ボタンを押すと、特定のパートにのみランダムネスをかけることができます。パッドを押してパートを選択し、[Current Track]ボタンを押し、[Randomness]ノブを回すと、そのパートにのみランダムネスの効果がかかります。

### パターン・ルーパー

パターン・ルーパーは、タッチ・ストリップに触ることで演奏中のパターンをループさせることができます。パターンの演奏中に、タッチ・ストリップの[1/4]の位置に触れ、そこから[1/8]、[1/16]、[1/32]の位置に向かって指を動かしてみましょう。触れた位置に応じたタイミングでパターンがループ(スタッター)します。タッチ・ストリップから指を離すと、パターンは通常の演奏に戻ります。

### アウトプット・フィルター

アウトプット・フィルターは、パターンに音色的な変化を付けることができる機能です。デフォルト設定ではバイパス(オフ)になっています。

1. フィルターをオンにするには、[Bypass]ボタンを押します。[Cutoff]や[Resonance]ノブを回して、音色の変化を聴いてみましょう。
2. [HPF]ボタンを押すと、ハイパス・フィルターがオンになります。[Cutoff]ノブを回して音色の変化を聴いてみてください。

### よりディープに探求する

これまで、パターンの作成や音色エディット、パフォーマンス・エフェクトの使用法をご紹介しました。これで、本機でできることの一端がご理解いただけたかと思います。

Arturiaウェブサイトからマニュアルをダウンロードし、DrumBruteのより多くの機能を探求してください。